

ブナ「凶作」で秋もクマに注意!

令和元年9月作成



秋はクマが冬眠に向けて餌を求めて活発に動き回ります。このため、行楽やキノコ採りなどで人とクマが出合う機会が多くなり、思わぬ事故にあう可能性もあります。

また、今年はクマの餌となるブナが凶作と見込まれており、今後もクマが出没し続けることが予想されます。さらに、県内では人身被害が過去10年間で31件発生し、その8割が9月～11月に発生しております。被害にあわないために、次のことに注意してください。

①クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。クマに自分の存在を知らせましょう。

●山や林に入るときや田畑に出るときは、ラジオやクマ鈴、笛など、音の出る物で、人の存在をクマに知らせましょう。

②子連れのクマに注意してください。

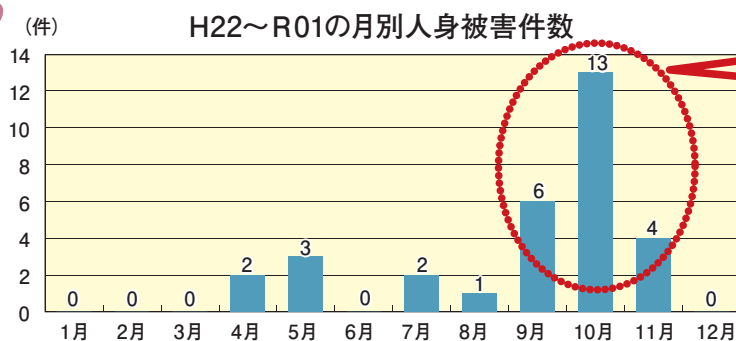
●子グマを見たら、近くに母グマがいて、警戒していると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

③万一、クマに出合ったら、背を向けずに、クマを見ながらゆっくり後退してください。

(クマ撃退スプレーの使用も有効です。)

④餌となる取り残しの果実や家の周囲のハチの巣を撤去してください。

また、餌付けとなる食品や生ゴミを放置しないでください。



クマによる人身被害の8割が9～11月に発生しています!

被害にあう時の主な状況

- キノコ採り10件(32%)
- 自宅玄関・小屋で作業中4件(13%)
- 山菜採り3件(10%)
- 森林での作業中2件(6%)
- 散歩中(6%)

【クマに関する情報】

山形クマ

検索



山形県環境エネルギー部みどり自然課

☎023-630-2208

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。